

令和 3 年度(令和 2 年度実施事業)

第 2 期 周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価

(案)

令和●年●月  
周南市 企画課

## 目次

第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証について	1~2
基本目標に係る数値目標の達成状況一覧	3
評価シート	4~41
<b>基本目標1 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり</b>	
(1)産業基盤強化の促進	4~5
(2)企業立地の促進	6~7
(3)新事業・新産業・新エネルギーの創出	8~9
(4)稼げる農林水産業の構築	10~11
(5)雇用の充実	12~13
<b>基本目標2 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり</b>	
(1)結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進	14~15
(2)豊かな心を育む幼児教育・保育サービスの提供	16~17
(3)生き抜く力を育む教育の充実	18~19
<b>基本目標3 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり</b>	
(1)関係人口の創出・拡大	20~21
(2)起業・創業支援の推進	22~23
(3)UJIターンの促進	24~25
(4)高等教育機関等との連携	26~27
<b>基本目標4 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり</b>	
(1)中心市街地における賑わいの創出	28~29
(2)観光交流の推進	30~31
(3)スポーツ交流の推進	32~33
<b>基本目標5 時代に対応した、持続可能なまちづくり</b>	
(1)Society5.0の実現に向けたまちづくり	34~35
(2)コンパクト・プラス・ネットワークの推進	36~37
(3)中山間地域の持続可能な生活圏づくり	38~39
(4)多様な主体による地域づくりの推進	40~41

## 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

周南市では、「まち」「ひと」「しごと」の好循環を確立するため、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望及び今後5か年の目標や具体的な施策をまとめた「第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「第2期総合戦略」という)」を令和2年9月末に策定しました。

第2期総合戦略は、総合計画に掲げた重点推進プロジェクトや推進施策のうち、人口減少問題の克服に資する取組を抽出し、そこに新たな施策や事業を組み込み、雇用・子育て・定住・まちづくりの分野について、本市の実情に即した基本方針、基本目標や推進施策などを戦略としてまとめたものです。

## 第2期総合戦略の評価

---

第2期総合戦略においては、5つの基本目標ごとに数値目標を掲げるとともに、推進施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しており、これらの達成状況を客観的に検証し、必要に応じて見直しを行うことで、総合戦略の着実な推進を図るために実施するものです。

## 評価対象

---

令和2年度に実施した5つの基本目標及びそれらに位置付けられる19施策。

## 評価の流れ

---

### ■自己評価(庁内評価)

令和2年度に第2期総合戦略に基づく事業を実施した所管課が、設定したKPIの達成状況や取組の成果、進捗状況等に基づき評価を実施します。

### ■外部評価(周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議)

周南市が行った自己評価について、専門的立場や市民の立場からの意見を反映させることで、第2期総合戦略の効率的かつ効果的な進捗を図るために実施します。

### ■評価後の対応

外部評価の検証結果等を踏まえて、必要に応じた施策や事業の見直し及び第2期総合戦略の改訂を行います。

## 評価にあたっての視点

---

KPIの達成状況や取組の成果等を踏まえ、推進施策は順調か、順調でないならその理由は何か、推進施策の進捗を図るために、今後必要な取組や推進施策間の事業の組み換え等についてご意見をいただきます。

### 【評価視点の例】

- ・自己評価が妥当であるか
- ・施策の進捗状況の認識やその理由が市の現状や市民感覚とかけ離れていないか
- ・数値目標やKPIはふさわしいものであるか
- ・分かりやすい記載・説明になっているか
- ・今後の対応が自己評価を踏まえた的確なものになっているか
- ・市内部の連携がとれているか
- ・今、取り組むべき事業等が漏れていないか(新たな取組の提案はないか)
- ・評価方法は適切か

## SDGsとの関係

SDGsの目指す17の目標は、国レベルで取り組むものも含まれ、第2期総合戦略に位置づけられた基本目標や推進施策とは対象や規模は異なりますが、目指すべき方向は共通するところが多くあります。本市においても、各施策との対応関係を明らかにし、地方創生への取組を進める中で、SDGsの目標達成に努めます。



1. 貧困をなくそう  
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



2. 飢餓をゼロに  
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



3. 全ての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



4. 質の高い教育をみんなに  
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



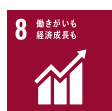
5. ジェンダー平等を実現しよう  
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児の能力強化を行う



6. 安全な水とトイレを世界中に  
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



8. 働きがいも経済成長も  
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう  
強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



10. 人や国の不平等をなくそう  
各国内及び各国間の不平等を是正する



11. 住み続けられるまちづくりを  
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



12. つくる責任 つかう責任  
持続可能な生産消費形態を確保する



13. 気候変動に具体的な対策を  
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



14. 海の豊かさを守ろう  
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



15. 陸の豊かさも守ろう  
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



16. 平和と公正をすべての人に  
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



17. パートナリシップで目標を達成しよう  
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ活性化する

基本目標に係る数値目標の達成状況一覧

5つの基本目標には計画最終年度(令和6年度)に実現すべき成果を測る指標として、数値目標を設定します。

基本目標	数値目標	単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	
1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	市内就業者数 (雇用保険の被保険者数)	目標	/	47,000.0	47,000.0	47,000.0	47,000.0	47,000.0	
		実績	人	47,383.0	47,331.0				
2. 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育てたいと思う親の割合	周南市で子育てをしたいと思う親の割合	目標	/	75.6	78.0	80.3	82.7	85.0	
		実績	%	73.4	71.5				
3. 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり	25～39歳人口の転出超過数	目標	/	50.0	45.0	40.0	35.0	30.0	
		実績	人	143.0	103.0				
4. 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり	まちなかの歩行者等通行量	目標	/	12,400.0	12,400.0	12,400.0	13,100.0	13,000.0	
		実績	人	12,176.0	11,681.0				
	年間観光客数	目標	/	174.0	175.0	176.5	178.0	180.0	
		実績	万人	165.0	100.0				
5. 時代に対応した、持続可能なまちづくり	周南市に住みたいと思う人の割合	目標	/	-	-	-	-	60.0	
		実績	%	42.3	-				

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

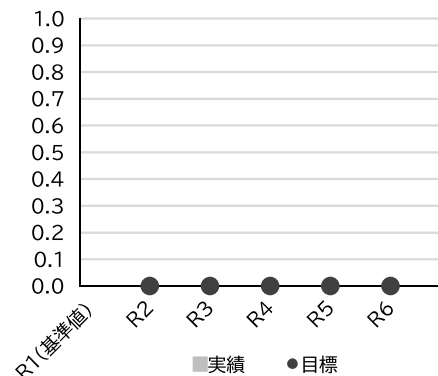
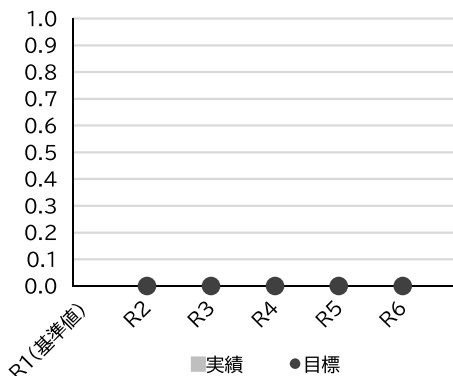
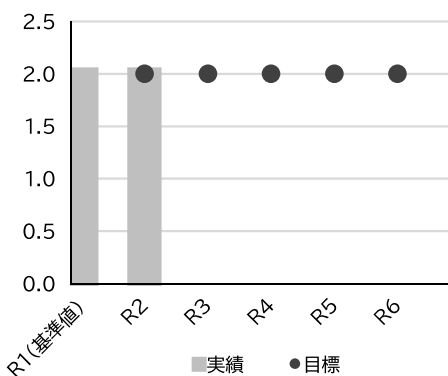
基本目標	1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	関連するSDGs ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(1)産業基盤強化の促進	

徳山下松港では、コンビナート企業の自家発電所などで使われる石炭の大型船舶による一括大量輸送を可能にするため、泊地や航路などの港湾整備が進められており、企業の海上輸送コストを削減し、国際競争力を強化するため、引き続き国や県と連携して事業の推進を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
徳山下松港航路等整備(累計)	目標	航路(完成)		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	航路(整備中)	2.0	2.0				
	目標							
	実績							

徳山下松港航路等整備(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	国際物流ターミナルの整備	具体的な取組	●国際物流ターミナル整備事業の推進
R2年度の取組・成果	コロナ禍であるが、山口県国際バルク戦略港湾連協議会(関係自治体及びバルク関連企業)から政府へ要望書を提出、中国地区港湾協議会にて要望活動を行った。また、国においては、航路・泊地の浚渫のほか、徳山地区の岸壁延伸に向け、公有水面の埋立申請が行われた。		
進捗状況の評価/今後の対応	2050年脱炭素化社会に向け、将来的には石炭の取扱量は減少するが、当面のベースロード電源としての石炭およびバイオマス燃料の需要は増加すると予測され、産業発展には港湾施設の機能強化が必要不可欠であることから、引き続き徳山下松港の早期の港湾整備を国・県等に要望する。		

主な取組②		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

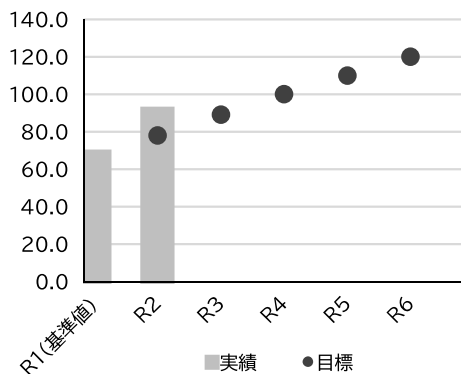
基本目標	1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	関連するSDGs ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑰パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(2)企業立地の促進	

本市での持続的な操業を後押しするため、市内企業の積極的な設備投資や本社機能の移転・拡充を支援するとともに、新たな企業の立地を促進する施策を展開することで、雇用の増加や新たな需要の創出を図り、地域経済の好循環につなげます。

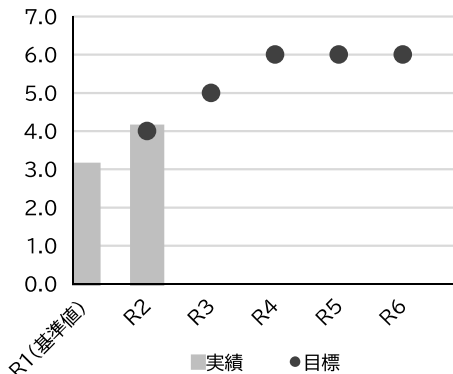
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
事業所等設置奨励補助制度の指定件数(累計)	目標	件	/	78.0	89.0	100.0	110.0	120.0
	実績	件	67.0	90.0				
本社機能移転等の認定件数(累計)	目標	件	/	4.0	5.0	6.0	6.0	6.0
	実績	件	3.0	4.0				
市の支援制度による進出事業所での新規雇用者数(累計)	目標	人	/	98.0	114.0	130.0	145.0	160.0
	実績	人	82.0	85.0				

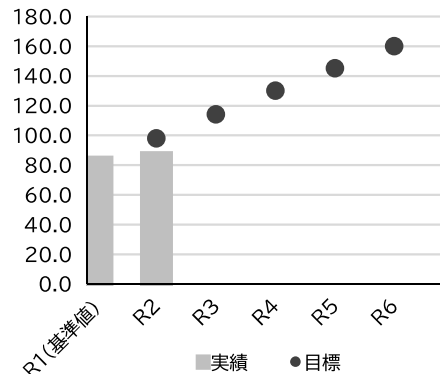
事業所等設置奨励補助制度の指定件数(累計)



本社機能移転等の認定件数(累計)



市の支援制度による進出事業所での新規雇用者数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	企業立地の促進	具体的な取組	●事業所等設置奨励補助制度の実施
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。		
進捗状況の評価/今後の対応	令和元年度の申請時期の変更により、令和2年度は端境期となったこともあり、年間目標件数11件を大きく上回る23件(経過措置対応分14件、変更後対応分9件)の認定となった。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		



主な取組②	本社機能の移転・拡充	具体的な取組	●本社機能の移転・拡充を促進する支援制度の実施
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。		
進捗状況の評価/今後の対応	年間目標件数1件と同数の1件の認定となった。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		

主な取組③	都市型産業の立地促進	具体的な取組	●情報通信産業等支援事業の実施 ●コンビナート電力の利活用 ●まちなかオフィス立地促進事業の実施
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。コンビナート電力の利活用については、徳山駅前地区市街地再開発組合からコンビナート電力を活用したいとの意思表示があり、供給に向けた事務手続きを開始した。		
進捗状況の評価/今後の対応	情報通信産業等支援事業は1件(令和元年度0件)、まちなかオフィス立地促進事業は3件(令和元年度0件)の認定となり、それぞれ前年度を上回った。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

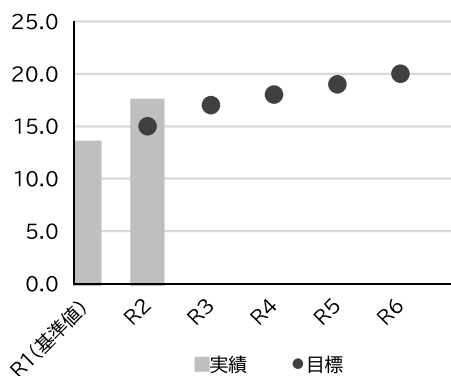
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	関連するSDGs ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩住み続けられるまちづくりを ⑫つくる責任つかう責任 ⑬気候変動に具体的な対策を ⑭陸の豊かさも守ろう ⑰パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(3)新事業・新産業・新エネルギーの創出	
未来につながる研究事業や成長事業に対して、関係機関が連携した推進体制の構築や積極的な設備投資を促す支援施策を展開するとともに、多様な分野への創業・起業を促進します。		

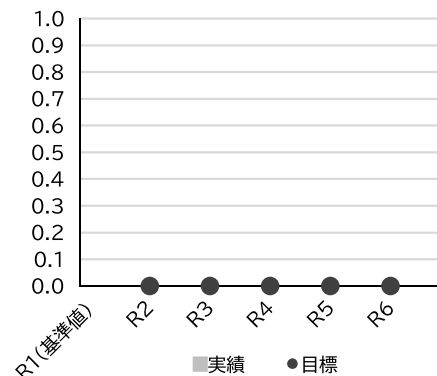
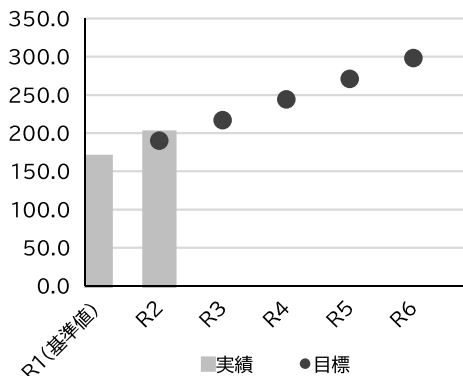
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI	単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
事業所等設置奨励補助制度の重点立地促進事業の指定件数(累計)	目標		15.0	17.0	18.0	19.0	20.0
	実績		13.0	17.0			
周南市創業支援等協議会の支援を受けた者のうち創業した件数(累計)	目標		190.0	217.0	244.0	271.0	298.0
	実績		163.0	195.0			
	目標						
	実績						

事業所等設置奨励補助制度の重点立地促進事業の指定件数(累計)



周南市創業支援等協議会の支援を受けた者のうち創業した件数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	新事業・新産業の創出	具体的な取組	●重点立地促進事業に対する事業所等設置奨励補助制度の実施 ●関係機関と連携した推進体制の構築
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。		
進捗状況の評価/今後の対応	令和元年度の申請時期の変更により、令和2年度は端境期となったこともあり、年間目標件数3件を上回る4件(経過措置対応分3件、変更後対応分1件)の認定となった。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		

主な取組②	水素先進都市の推進	具体的な取組	●水素利活用推進事業の実施 ●地域連携・低炭素水素技術実証事業の実施 ●水素イノベーション創出事業の実施
R2年度の取組・成果	燃料電池自動車購入及び水素関連製品等研究開発への補助を実施。また、水素利活用協議会をWEB開催し、水素利活用計画の一部改定案及び進捗状況等を示した。水素利活用機器による実証では、新たにFCV等で発電した電力の取入口等を整備し、停電を想定した給電、いわゆるV2H方式による給電を横浜市民センターで行い、非常時における水素使用量、消費電力量等のデータ収集等の実証を行った。		
進捗状況の評価/今後の対応	燃料電池自動車普及促進補助金1件(令和元年度0件)、水素関連製品等研究開発補助金1件(令和元年度1件)実施。燃料電池自動車の市内水素ステーション登録台数は28台(令和元年度25台)となった。引き続き、カーボンニュートラルに向けた国の動向を注視し、国、県、市内コンビナート企業や関係企業等と積極的に連携を進め、これまで取り組んできた水素利活用に関するアドバンテージを活かし、水素需要の拡大を図る。		

主な取組③	創業支援の推進	具体的な取組	●創業支援事業の実施 ●創業機運醸成事業の実施
R2年度の取組・成果	創業支援協議会の構成団体(金融機関、商工会議所等)における創業相談や創業講座の開催などにより、創業希望者に対して幅広い支援を行い、令和2年度の新規創業者数は目標の27人を上回る32人であった。創業機運醸成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送った。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き、創業支援協議会の構成団体(金融機関、商工会議所等)における創業相談や創業塾の開催などにより、創業希望者に対して幅広い支援を行う。また、高校生や大学生などの若者に創業に関心を持ってもらうため、学校と連携した創業機運醸成事業を実施する。		

主な取組④	木質バイオマス材の利活用	具体的な取組	●木質バイオマス材の利活用に向けた協議会の開催 ●緑山バイオマス材生産モデル事業の実施
R2年度の取組・成果	木質バイオマス材の地産地消、市内産木質バイオマス材の利活用に向けて、コンビナート企業5社や森林組合、バイオマスに知見のある企業や学識経験者等で構成された「周南市木質バイオマス材利活用推進協議会」を設置し、第1回の協議会をWEBで開催した。須々万地区の市有林・緑山にスギ、ヒノキより成長の早い早生樹の植林を約7ha実施し、これに伴う伐採木の一部を市内コンビナートで燃料使用した。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き、市有林における早生樹を活用した低コスト、15年サイクルによる循環的なバイオマス生産を実証し、将来的な地域産材の供給に向けて、適宜、柔軟な最適手法を検討するとともに、森林の循環利用の推進や木質バイオマス材の地産地消に向けて木質バイオマス材利活用推進協議会構成団体等と協議を進めていく。		

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

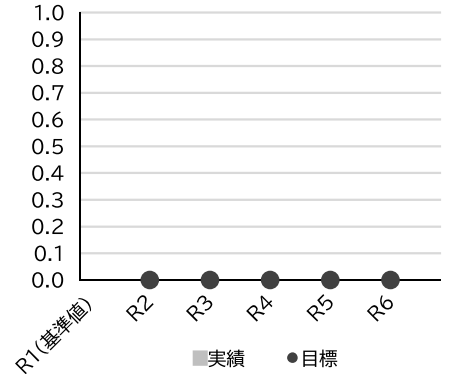
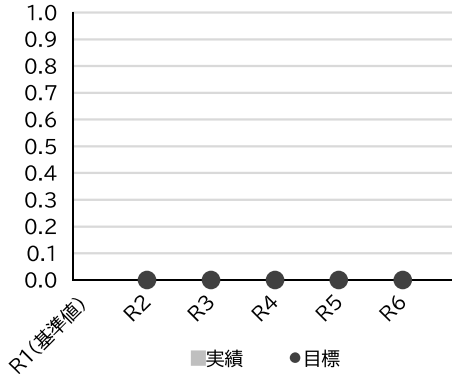
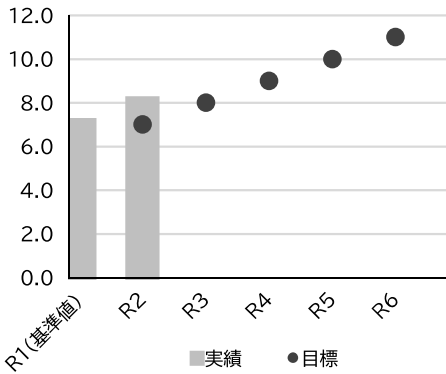
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	関連するSDGs ②飢餓をゼロに ⑩つくる責任つかう責任 ⑪海の豊かさを守ろう ⑫陸の豊かさを守ろう ⑱パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(4)稼げる農林水産業の構築	
付加価値の高い農林水産物及びその加工品を創出するなど、「六次産業化・地産地消法」や「農工商連携促進法」に基づく補助事業、有利な資金の活用などによる、6次産業化・農工商連携の一体的な取組を進めるほか、地域製品のブランド力を向上させる取組を強化し、農林水産業界の所得向上や雇用創出などによる活力のある地域づくりを推進します。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
6次産業化チャレンジ支援事業対象件数(累計)	目標	件		7.0	8.0	9.0	10.0	11.0
	実績	件	7.0	8.0				
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

6次産業化チャレンジ支援事業対象件数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	地域製品の開発・ブランド化	具体的な取組	●6次産業化推進事業の実施 ●地域製品のブランド力強化事業の実施 ●地産外商の実施
R2年度の取組・成果	6次産業化チャレンジ支援事業を活用して、1件の新商品開発を支援し、第1次製品の付加価値の向上が図られた。量販店や地産地消推進店を活用した新たなイベントを開催し、「しゅうなんブランド」及び「地産地消推進店」の認知度向上や利用促進を図った。「しゅうなんブランド」2品、「地産地消推進店」1店を新たに認定した。地産外商については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法に制限が伴ったものの、東京のアンテナショップやネットの活用、地域商社やまぐちとの連携により、地域製品の売込み強化を図った。		
進捗状況の評価/今後の対応	6次産業化への取組については、本市支援事業を活用するとともに、支援に取り組む関係機関との連携により、6次産業化に取り組む事業者を支援していく。シティプロモーション事業との連携による効果的な情報発信や、「しゅうなんブランド 極」の更なる活用等により、「しゅうなんブランド」の認知度向上及び地域製品の利用促進を図る。		

主な取組②		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	

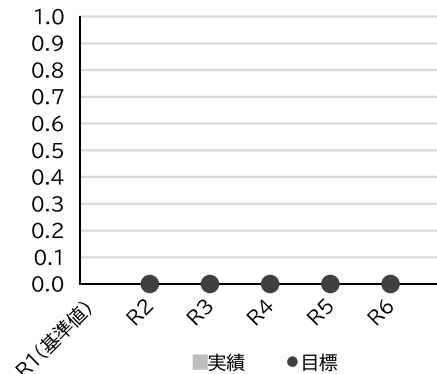
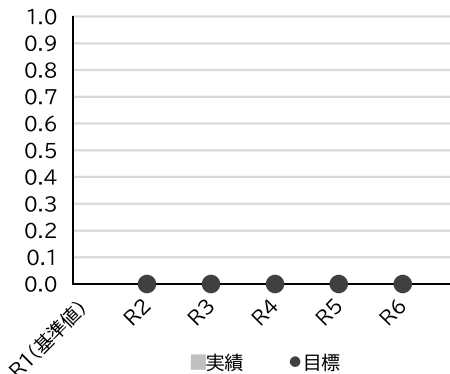
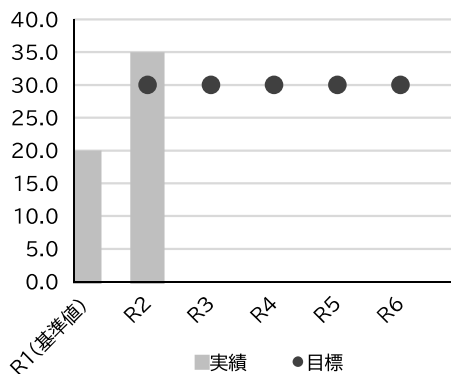
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	1. 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり	関連するSDGs ① 貧困をなくそう ⑧ 働きがいも経済成長も ⑩ パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(5)雇用の充実	
若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくりを推進し、多様な就業機会を確保することにより、市内の産業の持続的発展、地域経済の活性化と雇用の充実に図ります。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
雇用マッチング事業に関連した新規就業者数(年間)	目標	人	/	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	人	19.0	34.0				
	目標		/					
	実績							
	目標		/					
	実績							

雇用マッチング事業に関連した新規就業者数(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	多様な就業機会の確保	具体的な取組	●女性雇用マッチング事業の実施 ●県外人材市内就職促進事業の実施 ●市内企業インターンシップ事業の推進
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルスの影響のため、企画したセミナーやイベントは中止や規模を縮小して実施した。魅力あるwebサイトを構築し、就業などに関する情報を適時掲載するとともに、SNSと連携した情報発信に取り組んだ。また、「情報・通信産業等支援制度」を活用して、女性の活躍に関心の高い企業が本市に進出したことにより、女性の新たな就労機会の創出が図られた。		
進捗状況の評価/今後の対応	構築したwebサイトや企業とのつながりを活用し、動画をメインとした情報発信により、「社名や職業分類から求職者に求人票を見てもらえない」といった課題や「求職票では表せない企業の魅力発信」といった課題の解消に向けて取り組む。また、創業希望者に対し、気軽に立ち寄れる相談窓口を新たに開設することにより、既存の創業支援体制の補完と新規創業者のサポートを図る。		

主な取組②		具体的な取組	
R2年度の 取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の 取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の 取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	

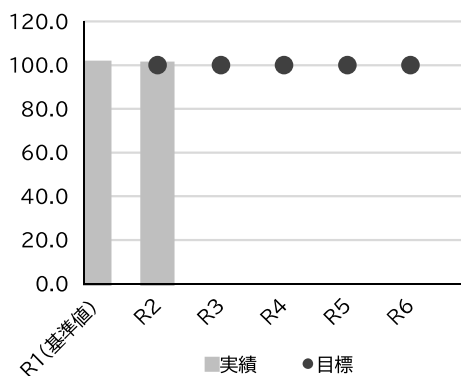
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	2. 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり	関連するSDGs ①貧困をなくそう ②飢餓をゼロに ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑥住み続けられるまちづくりを ⑩平和と公正をすべての人に ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(1)結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進	
結婚、妊娠を希望する人への支援や、全ての妊産婦・乳幼児・児童生徒とその家族への「切れ目のないきめ細かな支援」と「地域全体で子育てを支える環境づくり」に取り組み、「子育ての幸せあふれるまち」を目指します。		

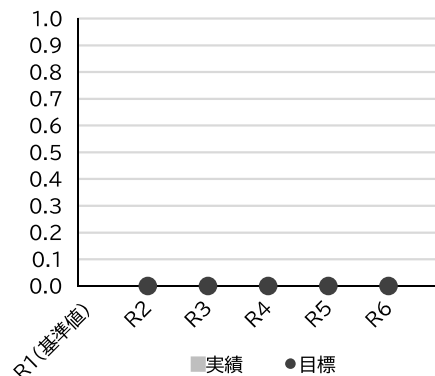
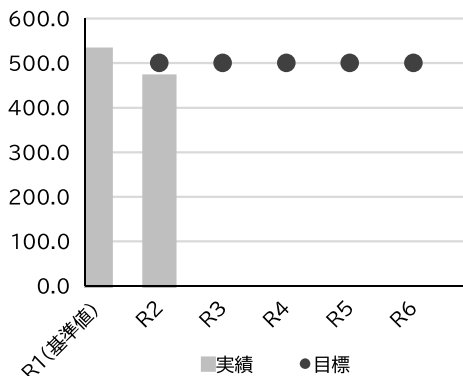
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
乳児家庭全戸訪問割合(年間)	目標	%	/	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	%	99.0	98.6				
養育支援訪問事業の実施件数(年間)	目標	件	/	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0
	実績	件	520.0	460.0				
	目標		/					
	実績							

乳児家庭全戸訪問割合(年間)



養育支援訪問事業の実施件数(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	切れ目のない支援体制の強化	具体的な取組	●妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口の運用 ●きめ細かな子育て支援の充実 ●産前・産後の支援の充実 ●乳児家庭全戸訪問 ●養育支援訪問事業の充実 ●切れ目のない子育て支援の充実に向けた連携体制の強化
R2年度の取組・成果	令和2年4月～あんしん子育て室を新設。児童福祉と母子保健を一体的に運用することで妊娠前から18歳まできめ細かな支援の充実を実現した。養育支援訪問事業では、従前の臨床心理士や保健師による訪問支援に加え、訪問介護事業所による家事支援、生活環境改善のための整理収納アドバイザーによる指導助言等を開始した。		
進捗状況の評価/今後の対応	訪問活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施率、実施件数共に減少したが、引き続き、十分な感染予防に配慮しながら、切れ目のないきめ細かな支援の充実に努める。令和3年4月から産後ケア事業の対象年齢を拡充し、産前産後サポーター派遣事業では、多胎家庭のための支援内容を充実させる。		



主な取組②	安心して子育てができる環境の充実	具体的な取組	●不妊治療、不育症治療の支援 ●こども医療費の支援 ●妊よう性温存治療の支援 ●イクボス同盟の推進 ●効果的な情報発信
R2年度の取組・成果	令和2年度より、不妊治療費助成制度の所得制限を撤廃し、市独自の助成を開始。同じく、不育症治療費、妊よう性温存治療費の助成を市単独で開始。令和3年3月から電子母子手帳機能を併せ持った子育て支援アプリ「はぴはぐby母子モ」を導入し子育て情報発信を強化。こども医療費の支援により、子育て世帯の経済的負担を軽減することで、乳幼児及び児童の保健の向上を図った。		
進捗状況の評価/今後の対応	令和2年度より開始した市独自の治療費助成制度の内、特定不妊治療費助成、妊よう性温存治療費助成については県の助成制度の拡充により、令和3年度より廃止。その他の助成についても、国の保険適用の動向を注視していく。こども医療費支援について、令和3年10月から制度を拡充し、小学生までの所得制限を撤廃し無料化する。イクボス同盟の取組について、新たな団体の加入を目標に周知・啓発を行う。		

主な取組③	子どもの明るい未来への支援	具体的な取組	●子どもの居場所づくりの推進 ●学習・生活支援事業の実施
R2年度の取組・成果	子どもの居場所づくりとして子ども食堂を開設するための研修会等を継続実施し、令和2年度からは開設準備等に係る補助事業を開始。学習・生活支援事業については、コロナ禍の影響により実施を見送り、次年度へ向け事業実施方法等の見直しを行った。		
進捗状況の評価/今後の対応	研修会等の実施により子ども食堂についての意識の醸成が図られ、更に、開設補助の開始により新たな子ども食堂の立ち上げ支援につながっている。学習・生活支援事業については、実施方法等を再構築し、令和3年度の事業実施へ向けて取り組む。		

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	2. 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり
推進施策	(2)豊かな心を育む幼児教育・保育サービスの提供

関連するSDGs

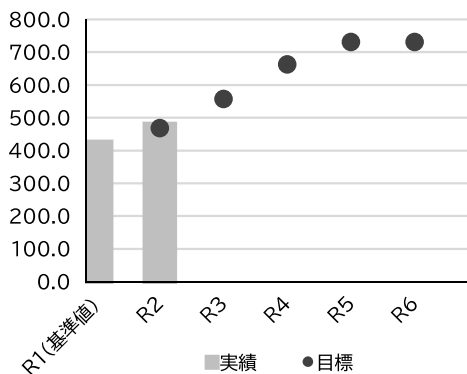
- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 平和と公正をすべての人に
- ⑦ パートナーシップで目標を達成しよう

保育所をはじめとする各種保育サービスにおいて、民間活力を積極的に導入するとともに、認定こども園化等による統廃合により、現況に応じた適切な教育・保育環境の再構築を進めます。また、保育士の継続的・安定的な確保のための就労支援を行うとともに、公立と私立の合同研修の充実や小学校教育への接続を円滑にする取組により、幼児教育の質の向上を図ります。さらに児童クラブにおいては、専門アドバイザーによる各クラブの巡回訪問、支援員・補助員への助言や指導を実施するほか、研修会を開催するなど、放課後や長期休業期間などにおける子どもの安全かつ安心な保育のための環境づくりや人材の確保・育成に取り組めます。

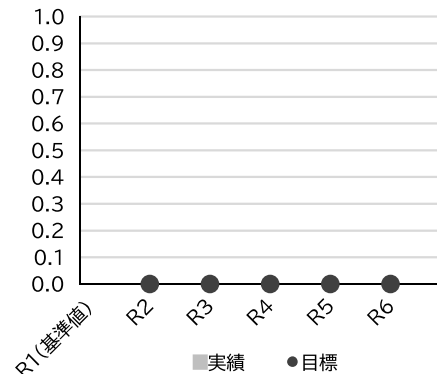
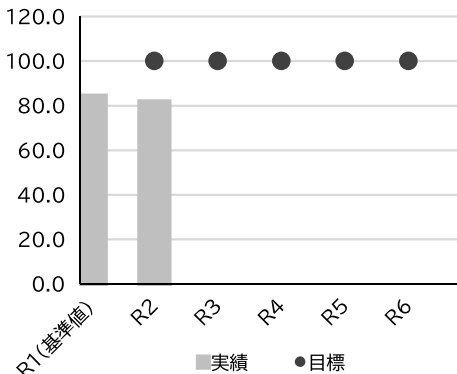
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
民営化及び統廃合により移行する定員(累計)	目標	人		468.0	557.0	662.0	731.0	731.0
	実績	人	413.0	468.0				
市主催の研修会への参加率(年間)	目標	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	%	82.5	80.0				
	目標							
	実績							

民営化及び統廃合により移行する定員(累計)



市主催の研修会への参加率(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	教育・保育施設の再編整備	具体的な取組	●公立保育所等の再編整備 ●民間事業者の進出支援・誘致
R2年度の取組・成果	令和2年4月より、鹿野保育園と鹿野幼稚園を幼保連携型認定こども園に統合し、鹿野こども園を開設した。また、令和3年度からの地域型保育所の開設に向けた準備、令和4年度からの周央保育園の民営化に向けた事業者の選定や関係者への説明会を実施した。令和3年3月には公立保育所・幼稚園・認定こども園施設分類計画を策定し、公立保育所等の再編整備の方向性を定めた。		
進捗状況の評価/今後の対応	令和4年4月の周央保育園の民営化に向け、保育内容の引継や民間事業者による施設整備を補助していく。他の公立施設については、施設分類計画に基づき、再編整備に関する個別計画を策定し、民間活力の導入も含めた再編整備を進めていく。また、地域型(事業所内)保育事業の新設に向け、民間事業者からの相談・問い合わせに対応していく。		

主な取組②	幼児教育・保育の質の向上	具体的な取組	●幼児教育・保育の質の向上 ●保育士の継続的・安定的な確保
R2年度の取組・成果	【幼児教育・保育の質の向上】平成29年度から、幼児教育に専門的な知見や豊富な実践経験を持つアドバイザーを設置し、市内の幼稚園、保育所や認定こども園等の合同研修会を実施している。令和2年度から幼保小連携の専門のアドバイザーを配置し、小学校教育との円滑な接続のための職員研修やスタートカリキュラム作成の支援を行った。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により合同研修(講演会)は中止となった。【保育士の継続的・安定的な確保】慢性的な保育士不足に対応するため、令和2年度より、保育にかかる周辺業務を行う者(保育支援者)の配置や公立保育所の任期付職員の採用に取り組んでいる。また、私立保育所における指導監査等を通じて職員の賃金等の処遇改善の取組みを精査しており、保育士がよりよい環境で働けるように努めている。		
進捗状況の評価/今後の対応	【幼児教育・保育の質の向上】本市全体の幼児教育の更なる質の向上を図るため、教職員との連絡体制を整備するとともに、研修会や園訪問等を通じて、実践的な幼児教育の理解を図る必要がある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により合同研修会は中止となったが、保小連携アドバイザーによる訪問指導等の活動は概ね実施できた。今後は、アドバイザーによる現場での指導だけでなく、必要に応じオンラインによる会議や指導等も行っていく必要がある。【保育士の継続的・安定的な確保】引き続き保育士不足が懸念されることから、ICTの活用による保育に係る周辺業務の効率化や保育支援者の採用支援等により、保育に係る業務全体の強化・バックアップを進めていく。		

主な取組③	放課後児童クラブの充実	具体的な取組	●放課後児童クラブ職員研修の実施
R2年度の取組・成果	特別支援学校教諭の資格を有する専任アドバイザーを雇用し、各児童クラブが抱える問題点等の把握、支援員、補助員に対する相談役として積極的に巡回訪問した。特に、配慮を要する児童への関わり方については、特別支援学校教諭の知識と経験を生かし、研修資料の作成とクラブ単位での研修を実施し、児童クラブ職員への適切なアドバイスとスキルアップを図った。		
進捗状況の評価/今後の対応	支援員の質の向上を図るため、支援員を対象とした定期的な各種研修会を実施できているとともに、令和2年度からは全職員の参加が可能となる訪問型の研修会の実施へと対象を拡大できている。今後も、各児童クラブの課題とニーズを踏まえながら、訪問型の研修を継続していく。また、作業療法士等の専門職や小学校との連携を推進することで、児童クラブ職員のスキルアップを図っていく。		

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

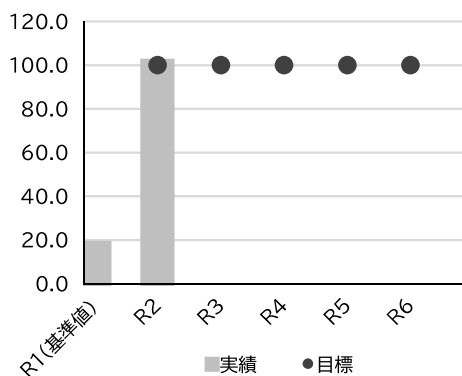
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	2. 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり	関連するSDGs ①貧困をなくそう ④質の高い教育をみんなに ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑧働きがいも経済成長も ⑩人や国の不平等をなくそう ⑪住み続けられるまちづくりを ⑫つくる責任つかう責任 ⑩パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(3)生き抜く力を育む教育の充実	
子どもたちが、これからの社会を生き抜くために、学び、チャレンジすることができる教育の充実に取り組みます。また、これからの情報化社会に対応できるようICTを活用した教育を推進し、質の高い学びを実現することで、学ぶ意欲を持つ子どもの育成やグローバルな視点を持った子どもの育成に取り組みます。さらに家庭や地域と連携して、地域の自然や文化等を生かした特色のある教育を推進し、「ふるさと周南」の自然や歴史、伝統や文化に誇りと愛着をもち、高い「志」を抱いて社会で活躍し、力強く自らの未来(あす)を拓く子どもたちを育てる環境づくりに取り組むとともに、経年劣化に伴い損傷が著しい校舎等、安心安全で快適な教育環境を整備します。		

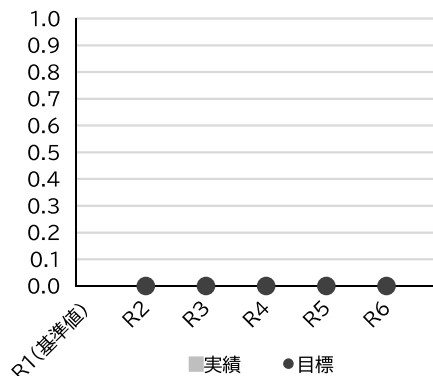
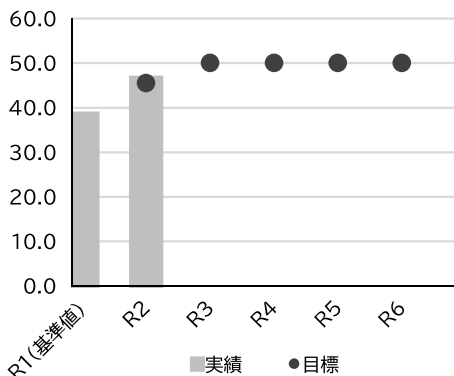
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
児童生徒1人1台の端末の整備率(累計)	目標	%	/	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	%	16.5	100.0				
小中学校トイレ洋式化率(累計)	目標	%	/	45.5	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	%	37.7	45.7				
	目標		/					
	実績							

児童生徒1人1台の端末の整備率(累計)



小中学校トイレ洋式化率(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	特色ある教育の充実	具体的な取組	●コミュニティ・スクールの推進 ●充実した学校生活サポート事業の実施 ●教職員の働き方改革の推進
R2年度の取組・成果	コミュニティ・スクール充実のため、学校運営協議会に対し補助金等支援を行うことで、各学校と地域が連携した各種活動等を充実させることができた。各学校における地域活動など特色のある学校行事等への支援、本物に触れる体験・学習への支援を行うことで、子どもたちの「豊かな心」の育成を図ることができた。「周南市立学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則」の改正により、教育職員が学校教育活動に関する業務を行っている「時間外在校等時間」の上限を定め、周知を図った。コロナ禍においても、教職員が本来担うべき業務に集中できる環境づくりを整備するため、学校業務支援員を22名増員し、小中学校に計48名を配置することで、教職員が子どもたちに接する時間の確保することができた。		
進捗状況の評価/今後の対応	コミュニティ・スクールへの支援として、地域に開かれた学校づくりを充実させるため継続して支援を行う必要がある。学校を中心とした特色ある地域活動や子どもたちの本物に触れる体験を通じた豊かな感性などの「豊かな心」の育成のため、継続して支援を行う必要がある。教職員がその専門性を生かし、特色ある効果的な教育活動に専念できるよう、消毒作業等の校内の安心安全な環境整備や授業準備、学級事務等の補助業務を行う学校業務支援員の充実が必要である。		

主な取組②	学校ICT環境の充実	具体的な取組	●普通教室への大型ディスプレイの設置 ●児童生徒1人1台の情報端末の整備 ●児童生徒1人1台の情報端末の活用に係る教職員研修
R2年度の取組・成果	ICT教育環境の充実のため、各学校普通教室への大型ディスプレイを設置し100%整備済。国の「公立学校情報機器整備費備補助金」等を活用し、児童生徒1人1台の情報端末活用のため整備し100%整備済児童生徒1人1台の情報端末の活用のために教職員研修に取り組んだ。●学習総合支援システム活用に係る全体研修 ●オンライン授業等に対応のための環境整備 ●授業での情報端末活用のための各学校個別研修		
進捗状況の評価/今後の対応	大型ディスプレイ・児童生徒1人1台端末等に係るハード整備は完了。ICT教育環境の適正な維持管理を行っていく。各学校におけるICT機器の授業等への活用のため、全体研修、各情報部会等研修または学校での個別研修を引き続き行っていく。		

主な取組③	快適な教育環境の充実	具体的な取組	●小中学校トイレ洋式化の推進 ●学校給食費管理システムの導入
R2年度の取組・成果	今まで各学校で対応していた学校給食費収納事務を令和3年度分から市で一括管理するため、学校給食費管理システムを令和2年度までに導入する必要があったが、計画通り事業者選定や関係者への事前周知を実施した。中学校4校のトイレ改修工事を実施したことにより、市内小中学校の洋式化率が37.7%から45.7%へ向上することが出来た。		
進捗状況の評価/今後の対応	既に令和3年度から「学校給食費管理システム」による運用を開始しており、学校関係者の事務負担の軽減につながっている。令和3年度においても引き続きトイレ改修工事を実施し、早期に目標値である洋式化率50%を達成するよう努めてまいりたい。		

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

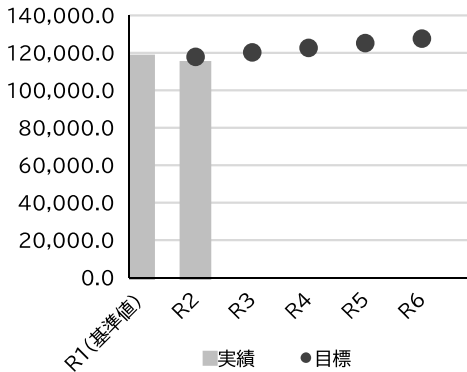
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	3. 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり	関連するSDGs ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩人や国の不平等をなくそう ⑪住み続けられるまちづくりを ⑫パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(1)関係人口の創出・拡大	
シティプロモーション事業は、庁内連携や体制の強化、魅力ある地域資源の創出・発掘、様々なメディアを通じた情報発信による、認知度向上に向けた取組を推進するほか、シビックプライドの醸成につながるよう、市への愛着や誇りが育まれるような取組を、市民の意見・アイデアを取り入れながら、市民、企業・団体、行政とが連携・協力して進めます。さらに市出身者をはじめ、在勤歴や在学歴のある人のほか、ふるさと納税をしたことのある人など、本市と多様な関わりを持つ人たち、いわゆる「関係人口」に着目し、こうした人たちと地域とをつなぐ「関係人口100万人ネットワーク」の取組を進めます。		

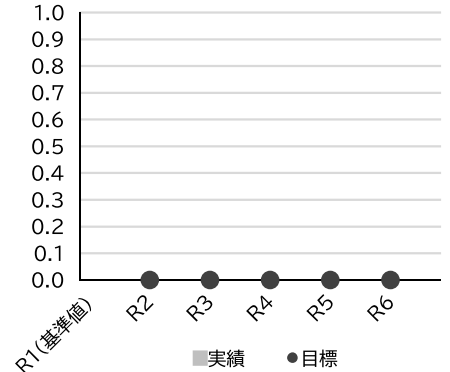
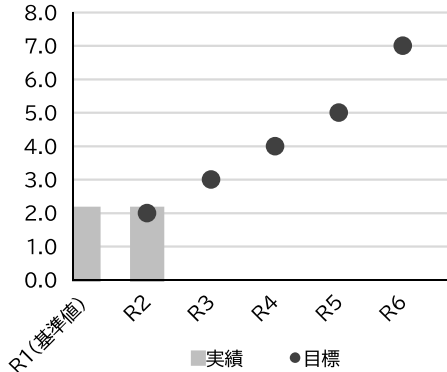
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
市公式SNS合計フォロワー数(時点)	目標	件	/	117,845.0	120,202.0	122,606.0	125,058.0	127,559.0
	実績	件	115,534.0	112,155.0				
中山間地域において関係人口により組織された地域の担い手となる団体数(累計)	目標	団体	/	2.0	3.0	4.0	5.0	7.0
	実績	団体	2.0	2.0				
	目標		/					
	実績							

市公式SNS合計フォロワー数(時点)



中山間地域において関係人口により組織された地域の担い手となる団体数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	シティプロモーションの推進	具体的な取組	●市民と共に進めるシティプロモーション ●関係人口との新たなつながりの構築・拡大 ●庁内連携体制の充実による情報発信力の強化
R2年度の取組・成果	令和2年4月より、新たなシティプロモーション事業として、市民ワークショップの開催、ロゴマークデザインの作成、関係人口拡大のためのプラットフォームの構築に取り組んだ。また、コロナ禍で、実際に集まるイベントの開催が難しい中、SNS等による市の魅力発信を行い、人とのつながりを生み出す試みも行った。		
進捗状況の評価/今後の対応	関係人口100万人ネットワークの構築に向けて、その核となるプラットフォームをスタートすることができた。今後は、プラットフォームの運用と充実を図るため、SNSなど各発信媒体の特徴を活かした効果的な情報発信や市民・企業等と連携したシティプロモーション活動の推進など、関係人口の輪を広げる取り組みを展開する。		

主な取組②	地域づくりの担い手の創出・拡大	具体的な取組	●関係人口を創出するきっかけづくり ●関係人口を地域づくりに生かす仕組づくり
R2年度の取組・成果	和田地区において、関係人口の創出・拡大につながる体験交流プログラムの造成に向けた取組みが開始され、関係人口を受け入れる仕組みや体制の構築が進められている。		
進捗状況の評価/今後の対応	中山間地域において、関係人口の重要性について気運醸成を図るとともに、関係人口の創出・拡大に向けた地域の主体的な取組みを支援することにより、持続可能な組織づくり等につなげる。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

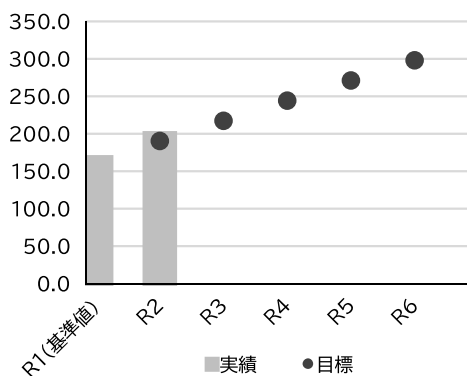
基本目標	3. 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり	関連するSDGs ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑰パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(2)起業・創業支援の推進	

市内に留まって働きたい若者や女性が、いつまでも住み続けたいと思い、活躍できるよう、創業しやすい環境づくりや支援を積極的に行い、若者や女性の創業を促進します。特に、情報や映像コンテンツなどが学べる高等教育機関が立地している本市の強みを生かし、情報・通信産業等のいわゆる都市型産業の進出を支援することで、創造性豊かな人材の育成・定着を図り、新たなまちの価値と魅力を創造します。また、高齢化・後継者不足が進む農業の担い手確保のため、国や県の事業を活用し、新たに農業参入する際の課題をパッケージで支援することで、新規就農者の確保と定着を図ります。

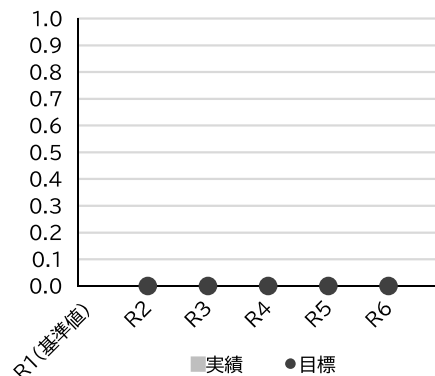
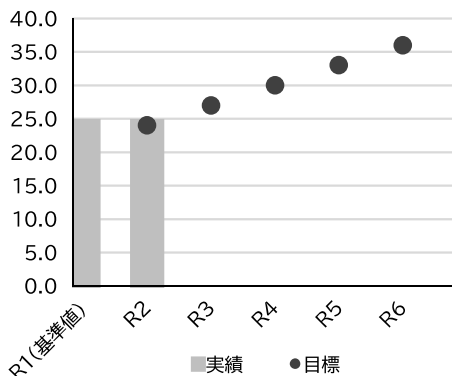
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
周南市創業支援等協議会の支援を受けた者のうち創業した件数(累計)	目標	件	/	190.0	217.0	244.0	271.0	298.0
	実績	件	163.0	195.0				
認定新規就農者数(累計)	目標	人	/	24.0	27.0	30.0	33.0	36.0
	実績	人	24.0	24.0				
	目標		/					
	実績							

周南市創業支援等協議会の支援を受けた者のうち創業した件数(累計)



認定新規就農者数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	創業支援の推進(再掲)	具体的な取組	●創業支援事業の実施 ●創業機運醸成事業の実施
R2年度の取組・成果	創業支援協議会の構成団体(金融機関、商工会議所等)における創業相談や創業講座の開催などにより、創業希望者に対して幅広い支援を行い、令和2年度の新規創業者数は目標の27人を上回る32人であった。創業機運醸成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送った。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き、創業支援協議会の構成団体(金融機関、商工会議所等)における創業相談や創業塾の開催などにより、創業希望者に対して幅広い支援を行う。また、高校生や大学生などの若者に創業に関心を持ってもらうため、学校と連携した創業機運醸成事業を実施する。		



主な取組②	都市型産業の立地促進(再掲)	具体的な取組	●情報通信産業等支援事業の実施 ●コンビナート電力の利活用 ●まちなかオフィス立地促進事業の実施
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。コンビナート電力の利活用については、徳山駅前地区市街地再開発組合からコンビナート電力を活用したいとの意思表示があり、供給に向けた事務手続きを開始した。		
進捗状況の評価/今後の対応	情報通信産業等支援事業は1件(令和元年度0件)、まちなかオフィス立地促進事業は3件(令和元年度0件)の認定となり、それぞれ前年度を上回った。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		

主な取組③	新規就農の支援	具体的な取組	●給付金事業の活用 ●新規就農者パッケージ支援事業の実施
R2年度の取組・成果	今年度はパッケージ支援対象者がいなかったため、給付金事業の活用はなし。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた首都圏で開催された就農相談会には現地に参加することはできなかったが、WEB相談会に積極的に参加し、新規就農に関する支援制度のPRを行った。コロナ禍で都会からの移住や農業に対し、関心を持った若者も多く、相談件数は前年度より6割増えた。		
進捗状況の評価/今後の対応	これまでパッケージ支援を通じて5名の新規就農者が中山間地域へ移住し、集落機能や農業の生産能力維持に貢献している。令和2年度は独立就農には繋がっていないが、就農相談件数は増加しており、引き続き、新規就農に関する支援制度のPRや相談対応を粘り強く行う。		

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

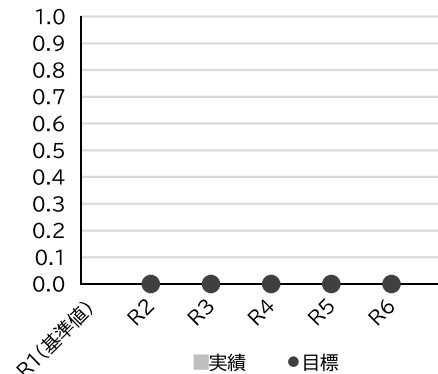
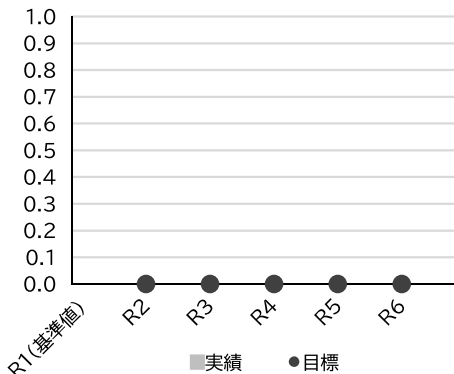
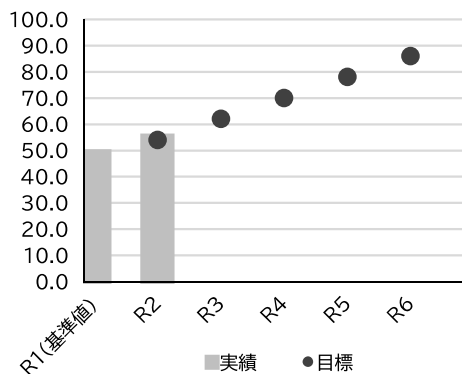
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	3. 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり	関連するSDGs ⑧働きがいも経済成長も ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(3)UJIターンの促進	
移住フェアへの参加やインターネットなどを活用した積極的な情報発信を進めます。また、中山間地域において、地域ぐるみでの移住者の受入体制を整備するとともに、空き家や市が所有する遊休施設等を活用して住宅の確保や起業等を支援することにより、地域の担い手となる移住者の受入れを進めます。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
市の支援制度を活用して中山間地域へ移住した世帯数(累計)	目標	世帯		54.0	62.0	70.0	78.0	86.0
	実績	世帯	48.0	54.0				
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

市の支援制度を活用して中山間地域へ移住した世帯数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	中山間地域への移住の促進	具体的な取組	●地域ぐるみでの移住者の受入体制の強化 ●移住者の住宅の確保 ●空き家情報バンクの運営 ●移住者による起業等の支援
R2年度の取組・成果	コロナ禍を踏まえ、テレワークの普及など働き方の変化もあり、地方への関心が高まりつつある中、空き家バンクや移住者に対する空き家改修支援制度、起業支援など、市の支援制度を活用し、6世帯8人が移住した。		
進捗状況の評価/今後の対応	大都市圏等からの移住や起業のニーズが今後も増えることが予想される中、移住者向けの空き家の確保に努めるとともに、これまで地域ぐるみでの受入体制の中心であった里の案内人に加え、新しく柔軟な発想を持つ若い世代による相談体制の構築を図る。		

主な取組②	シティプロモーションの推進(再掲)	具体的な取組	●市民と共に進めるシティプロモーション ●関係人口との新たなつながりの構築・拡大 ●庁内連携体制の充実による情報発信力の強化
R2年度の取組・成果	令和2年4月より、新たなシティプロモーション事業として、市民ワークショップの開催、ロゴマークデザインの作成、関係人口拡大のためのプラットフォームの構築に取り組んだ。また、コロナ禍で、実際に集まるイベントの開催が難しい中、SNS等による市の魅力発信を行い、人とのつながりを生み出す試みも行った。		
進捗状況の評価/今後の対応	関係人口100万人ネットワークの構築に向けて、その核となるプラットフォームをスタートすることができた。今後は、プラットフォームの運用と充実を図るため、SNSなど各発信媒体の特徴を活かした効果的な情報発信や市民・企業等と連携したシティプロモーション活動の推進など、関係人口の輪を広げる取り組みを展開する。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	

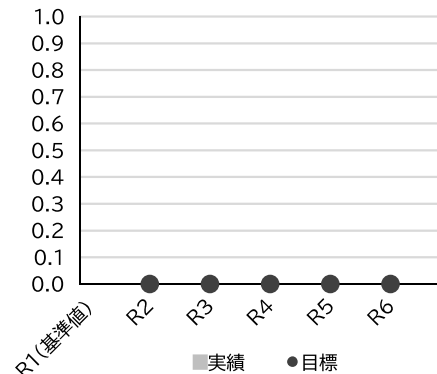
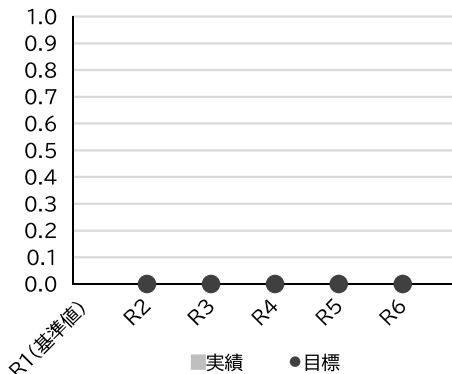
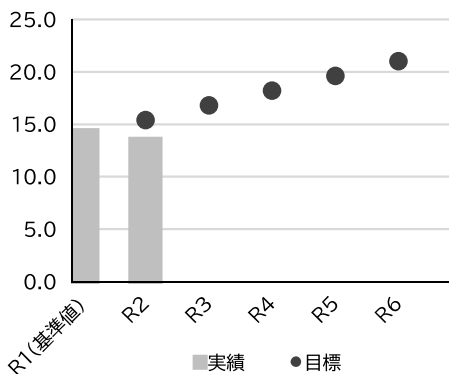
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	3. 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり	関連するSDGs ④質の高い教育をみんなに ⑦パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(4)高等教育機関等との連携	
市内の高等学校や高等教育機関、行政機関、企業等が連携し、地域産業を担う人材の育成をはじめ、魅力ある就業先や雇用の創出などに取り組み、若者の地元就職率の向上を図るとともに、市内高等教育機関等の持続的な発展を支援します。また、地元の人材を育成し、地元が求める人材として還元していく地域人材循環構造を確立するなど、活力ある人材の育成や若者の一層の地元定着を図ることを目的とし、徳山大学の公立化について検討を進めます。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
市内の高等教育機関を卒業し、就職した学生の市内就職率(年間)	目標	%		15.4	16.8	18.2	19.6	21.0
	実績	%	14.0	13.2				
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

市内の高等教育機関を卒業し、就職した学生の市内就職率(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	教育機関との連携強化	具体的な取組	●三者(周南市・徳山大学・徳山高専)連携等の強化 ●高等学校におけるコミュニティ・スクールの推進 ●PBL(project based learning)の推進
R2年度の取組・成果	年に3回程度開催している三者(周南市・徳山大学・徳山高専)連携協力推進会議において、大学・高専のシーズを活用した地域の課題解決について検討を行った。徳山高校の学校運営協議会に参画し、取組や評価に対して提言・意見交換を行った。若い世代の観光客を呼び込む新たな観光資源の掘り起こしや既存の観光資源のブラッシュアップを行うため、徳山大学にPBLを活用した調査研究業務委託を行い、ツアープランの提案等があった。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き、各教育機関との連携強化を図るとともに、学生が主体的に学びながら地域の課題解決に向けたプロジェクトを企画・実践することにより、地域への愛着を育み、学生の地元就職率の向上を図る。		

主な取組②	地元企業が求める人材の育成	具体的な取組	●市内企業インターンシップ事業の推進(再掲) ●徳山大学公立化の検討
R2年度の取組・成果	公立化の検討に係る様々なデータや情報を集めながら、有識者検討会議を計画的に進め、報告書の提出を受けた。		
進捗状況の評価 /今後の対応	「大学を生かしたまちづくりの方向性」を策定し、市民説明を進め、令和3年度の早期に公立化の方向性を判断する。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

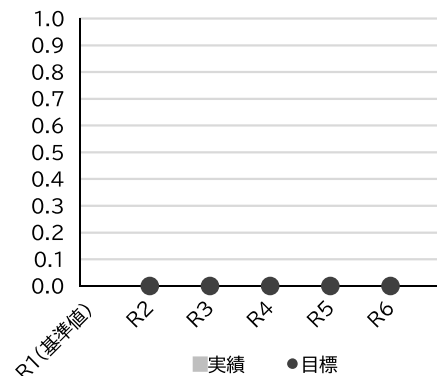
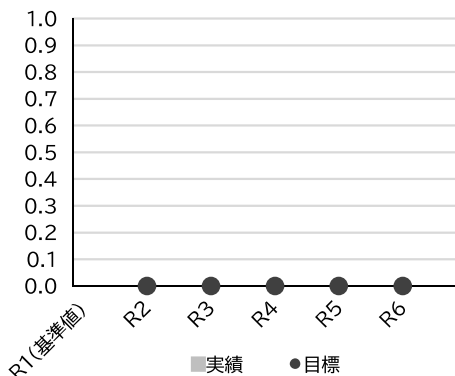
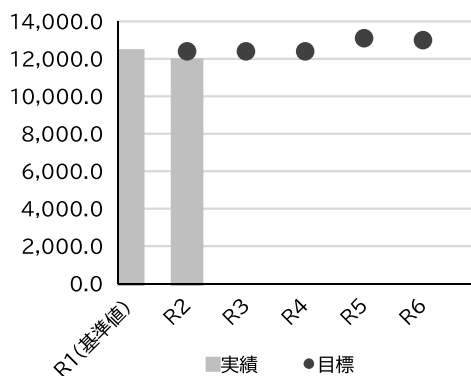
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	4. 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり	関連するSDGs ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに ⑤働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(1) 中心市街地における賑わいの創出	
第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、引き続き多種多様な事業に取り組むとともに、徳山動物園まで計画区域を広げて駅前からの回遊性を促進することでこの賑わいを中心市街地全域に波及させ、魅力ある中心市街地の再生・充実を進めます。また、徳山駅前地区第一種市街地再開発事業やイベントなどの賑わい創出に資する民間の活動を支援して来街者の増加を図ります。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
まちなかの歩行者等通行量(時点)	目標	人		12,400.0	12,400.0	12,400.0	13,100.0	13,000.0
	実績	人	12,176.0	11,681.0				
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

まちなかの歩行者等通行量(時点)



【主な取組と成果】

主な取組①	中心市街地の活性化	具体的な取組	●「第2期中心市街地活性化基本計画」に基づいた事業の展開 ●公共空間及び公共施設の利活用による賑わいの創出 ●組合施行による徳山駅前地区第一種市街地再開発事業への補助及び支援 ●動物園リニューアル事業の実施
R2年度の取組・成果	第2期中心市街地活性化基本計画の核事業である徳山駅前地区第一種市街地再開発事業では、権利変換計画の認可がなされ、既存施設の解体工事の着手まで進んだ。一方ソフト面でも中心市街地活性化協議会タウンマネジメント会議が20年後の街の理想を描いた未来ビジョンを作成されるなど公民一体で中心市街地の活性化に向けて取り組んだ。動物園リニューアル事業では、アジアの熱帯雨林ゾーンの整備に着手しており、爬虫類舎やマレーグマ舎の建設工事を進めた。また、事業開始から10年が経過したことから進捗状況を再確認し、動物園を取り巻く条件、期待される役割の変化等に対応するため、基本計画の見直しを行った。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き徳山駅前地区第一種市街地再開発事業や中心市街地活性化協議会の活動を支援し、中心市街地における賑わいの創出とエリア価値の向上に努める。また、動物園の全面リニューアルを計画的に進め、魅力向上による入園者数の増加を図るとともに、「まちなか動物園」として中心市街地との連携を図り、交流人口の拡大や「まち」の活性化につなげる。		

主な取組②	都市型産業の立地促進(再掲)	具体的な取組	●情報通信産業等支援事業の実施 ●コンビナート電力の利活用 ●まちなかオフィス立地促進事業の実施
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従前の訪問等による対面での事業者との意見交換、相談対応を最大限回避し、電話やWEB会議などの手法に切り替えたことから、事業所からの情報収集、事業所への情報提供が限定的なものとなった。コンビナート電力の利活用については、徳山駅前地区市街地再開発組合からコンビナート電力を活用したいとの意思表示があり、供給に向けた事務手続きを開始した。		
進捗状況の評価/今後の対応	情報通信産業等支援事業は1件(令和元年度0件)、まちなかオフィス立地促進事業は3件(令和元年度0件)の認定となり、それぞれ前年度を上回った。引き続き、事業所の動向を注視するとともに、金融機関等の事業所支援機関への積極的な情報提供などにより、市内での設備投資、雇用増を促進していく。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

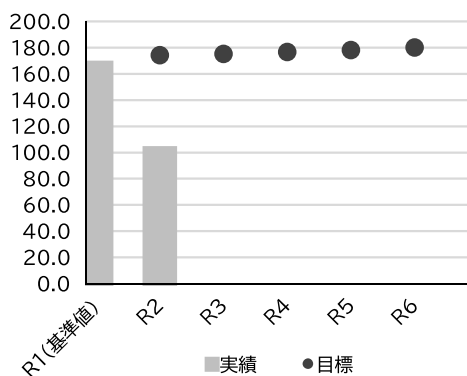
基本目標	4. 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり	関連するSDGs ⑧働きがいも経済成長も ⑩住み続けられるまちづくりを ⑫つくる責任 つかう責任 ⑯パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(2)観光交流の推進	

自然や暮らし、文化などの地域資源を最大限に活用した本市ならではのニューツーリズムを推進するとともに、コンベンション誘致に向けた受入体制の充実やアフターコンベンションの魅力強化等に官民連携して取り組み、交流人口の拡大や地域経済の活性化、地域に対する愛着や誇りの醸成を図ります。また、徳山動物園のリニューアル事業を計画的に進めるとともに、体験プログラムの開発や企画展の開催等を行うことにより、ハード・ソフトの両面から「まちなか動物園」としての魅力向上に取り組みます。

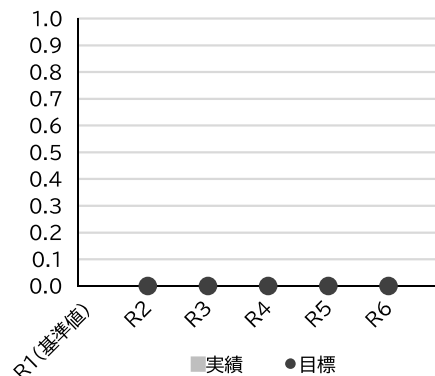
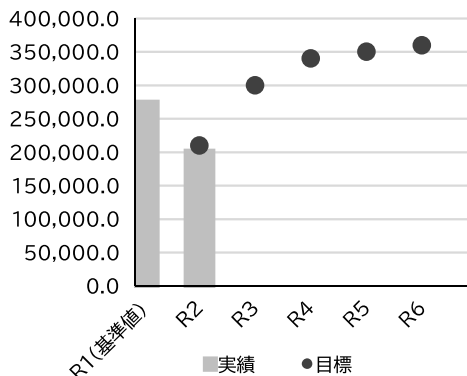
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
観光客数(年間)	目標	万人	/	174.0	175.0	176.5	178.0	180.0
	実績	万人	165.0	100.0				
徳山動物園入園者数(年間)	目標	人	/	210,000.0	300,000.0	340,000.0	350,000.0	360,000.0
	実績	人	268,607.0	195,757.0				
	目標							
	実績							

観光客数(年間)



徳山動物園入園者数(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	ニューツーリズムの推進	具体的な取組	●日常をときほぐす観光の展開 ●まちなか観光の展開 ●夜型観光の展開 ●都市と農山漁村の交流の推進 ●官民連携によるツーリズムの推進
R2年度の取組・成果	新型コロナウイルス感染症の影響により旅行の控えや、施設の臨時休館・イベント中止等があり観光客数が前年度と比較して60.9%に減少した。市としても、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業に取り組むことが困難であった。		
進捗状況の評価/今後の対応	新型コロナウイルスの影響により観光の推進を図ることは困難であったが、新たな旅のスタイルが注目されるなどの動きもあり、引き続き本市ならではのニューツーリズムの推進に取り組む。また、一般財団法人周南観光コンベンション協会と連携を図りながら、積極的かつ効果的な情報発信を行うことで、中山間地域の交流人口の拡大を図る。		



主な取組②	コンベンション誘致の推進	具体的な取組	●受入体制の強化 ●アフターコンベンションの強化、充実
R2年度の取組・成果	開催者への支援対応は概ね計画どおり実施できたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、これまでの対面による営業・誘致活動や、飲食を伴うアフターコンベンションが大幅に制限された。		
進捗状況の評価/今後の対応	ターゲットを定めた誘致活動を継続し、既存施設の新たな有効活用の方法を提案するなど、アフターコンベンションの魅力向上を図る。ウィズコロナ時代の新たな手法を用いた誘致活動や、アフターコロナの新しい生活様式や価値観にあったおもてなしの充実を図る。		

主な取組③	広域観光の推進	具体的な取組	●広域観光の推進 ●情報収集及び発信
R2年度の取組・成果	防府市と周南地域(下松市・光市)でそれぞれ広域観光を推進する協議会を設立している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光関係事業者に対し、独自の支援策として、地元での消費喚起を促し、早期の需要回復につなげ、観光及び地域産業の活性化を図ることを目的にスタンプラリーを開催した。多くの参加者があり、地元の再発見と地域への経済効果もあり一定の成果が得られた。		
進捗状況の評価/今後の対応	スタンプラリーのアンケート結果では、「行ったことのない場所に行くいい機会だった」、「地元の再発見につながった」、「コロナ禍の中でも家族と出かけるきっかけになった」等の好意的な意見が見られ、再び開催してほしいとの声も多くあった。今後も広域連携による、観光キャンペーンや情報発信に取り組み、県内外からの集客力を高め、観光消費の拡大と地域経済への波及効果につなげる。		

主な取組④	動物園の魅力向上	具体的な取組	●動物園リニューアル事業の実施(再掲) ●動物園魅力向上推進事業の実施
R2年度の取組・成果	令和2年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、4月から5月にかけて休園し、夏の企画展や、ふれあい体験などのプログラムも自粛したため、取り組みの波及対象者数が落ち込んだ。一方で、SNSなどによる情報発信を強化したことで、情報発信量を増加することができた。		
進捗状況の評価/今後の対応	新型コロナ感染症の影響でサービスの提供に大きな制約を受けた。引き続き新型コロナ感染防止に配慮した形で、実施できる体験の提供やリモートでの情報発信を行っていく。		

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

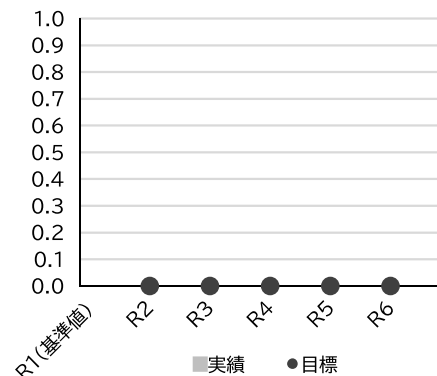
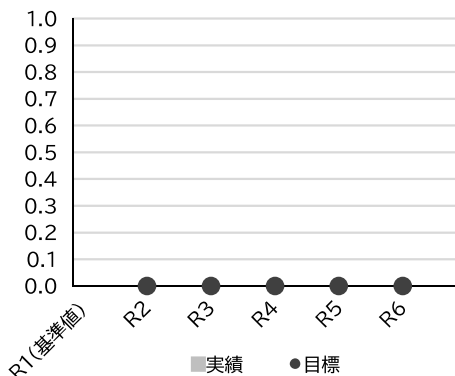
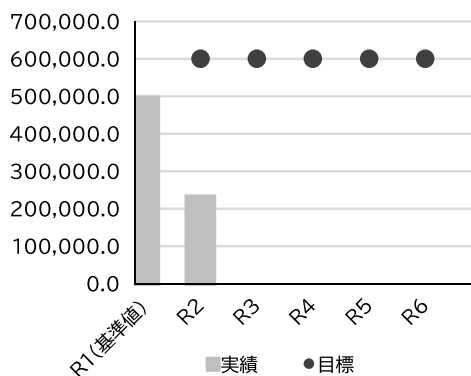
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	4. 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり	関連するSDGs ③すべての人に健康と福祉を ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(3)スポーツ交流の推進	
PFIの手法を導入し、民間のノウハウ等を活用した施設の整備や改修、維持管理・運営により、スポーツ施設の充実や、サービスの向上等に取り組むことで、周南緑地を今後も本市のスポーツ拠点施設として維持・発展し、スポーツコンベンションの推進による、交流人口の拡大や賑わいの創出、地域経済の活性化などを図ります。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
周南緑地内体育施設利用者数(年間)	目標	人	/	600,000.0	600,000.0	600,000.0	600,000.0	600,000.0
	実績	人	485,031.0	220,355.0				
	目標		/					
	実績							
	目標		/					
	実績							

周南緑地内体育施設利用者数(年間)



【主な取組と成果】

主な取組①	スポーツ拠点施設の充実	具体的な取組	●周南緑地の整備・運営等へのPFIの導入 ●PFIの手法による周南緑地の整備・改修 ●PFIの手法による周南緑地の維持管理・運営
R2年度の取組・成果	周南緑地の整備・運営等を一体的に行うPFI事業の導入に向けて、全体の方針を定める周南緑地基本計画の策定業務やPFI事業者の募集・選定等の支援を行うPFIアドバイザー業務を実施する周南緑地施設整備等総合支援業務の委託契約を締結した。		
進捗状況の評価/今後の対応	令和5年度からのPFI事業実施に向けて、競技団体や現指定管理者等の関係団体とヒアリングを実施したうえで、施設整備や維持管理を含む運営業務の内容等について整理し、周南緑地基本計画の策定内容との整合を図りながらPFI事業者の募集・選定、事業契約手続き等を進めていく。		

主な取組②	コンベンション誘致の推進(再掲)	具体的な取組	●受入体制の強化 ●アフターコンベンションの強化、充実
R2年度の取組・成果	開催者への支援対応は概ね計画どおり実施できたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、これまでの対面による営業・誘致活動や、飲食を伴うアフターコンベンションが大幅に制限された。		
進捗状況の評価/今後の対応	ターゲットを定めた誘致活動を継続し、既存施設の新たな有効活用の方法を提案するなど、アフターコンベンションの魅力向上を図る。ウィズコロナ時代の新たな手法を用いた誘致活動や、アフターコロナの新しい生活様式や価値観にあったおもてなしの充実を図る。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

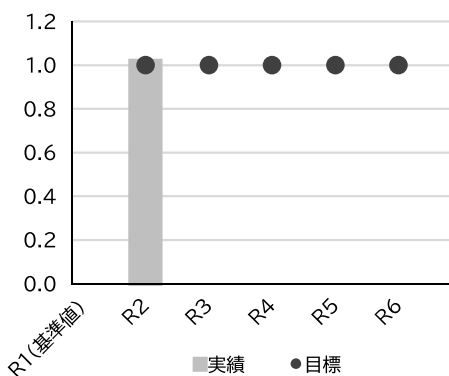
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	5. 時代に対応した、持続可能なまちづくり	関連するSDGs ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(1)Society5.0の実現に向けたまちづくり	
個人情報等を保護しながら、スマート自治体への転換を進めるとともに、まちづくりの中で積極的に先端技術等を活用して、官民連携のもと「スマートシティ」の推進に取り組み、誰もが安心して快適に暮らせる、人間中心の質の高い社会の実現に取り組みます。		

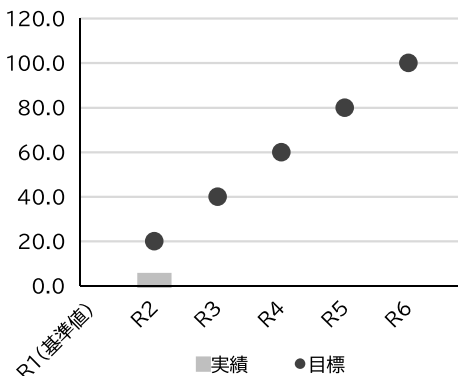
【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
スマートシティ構想の策定	目標	件	/	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	件	-	1.0				
RPAにて自動化する事務の件数(累計)	目標	件	/	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
	実績	件	-	3.0				
「ぴったりサービス」の提供サービス手続き数(累計)	目標	件	/	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0
	実績	件	16.0	17.0				

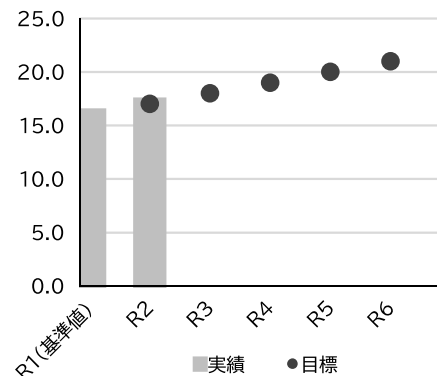
スマートシティ構想の策定



RPAにて自動化する事務の件数(累計)



「ぴったりサービス」の提供サービス手続き数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	スマートシティの推進	具体的な取組	●スマートシティ構想の策定 ●スマート自治体の推進 ●先端技術等の積極的活用 ●デジタル・ディバイドの解消と人づくり
R2年度の取組・成果	令和12年度までの中長期的な「周南市スマートシティ構想」を策定し、多様なデータや先端技術等を活用し活力ある豊かな周南市を実現するための方向性を定めた。また、RPA、AI-OCR、WEB会議を導入し、業務効率の向上を図った。		
進捗状況の評価/今後の対応	スマートシティの推進を図るため、市内にモデル地区を選定し、まちの課題について、デジタルディバイドの発生抑止と解消を図りながら、積極的に先端技術を活用して解決することに取り組む。また、スマート自治体の推進を図るため、庁内にモデル課を選定し、AI-OCR、RPA等のデジタル技術の活用により、業務改善や市民サービスの拡充等、DXに取り組む。		

主な取組②		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

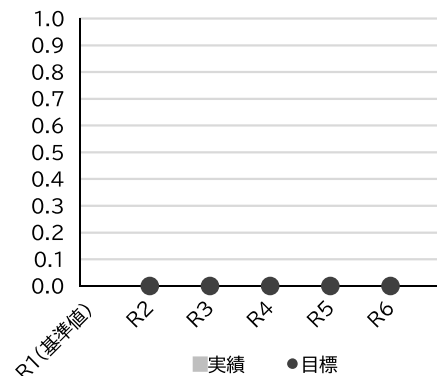
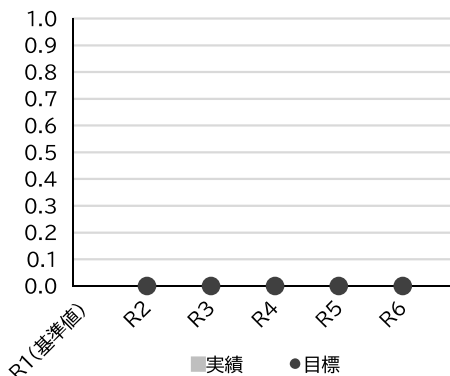
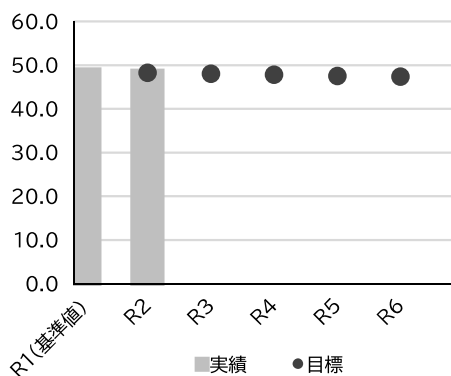
基本目標	5. 時代に対応した、持続可能なまちづくり	関連するSDGs ⑥安全な水とトイレを世界中に ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(2)コンパクト・プラス・ネットワークの推進	

「周南市立地適正化計画」や「周南市地域公共交通網形成計画」に基づき、居住及び都市機能の誘導と、拠点間をつなぐ公共交通ネットワークの形成により、市全体で暮らしやすい都市構造となるよう、コンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けて取り組めます。また、計画的な都市機能の配置や適正な土地利用により、良好な都市環境や安心安全な住環境の確保を図るとともに、AIやICTなどの先端技術を活用した新たなモビリティサービスも視野に入れ、時代に対応した快適で利便性が高いコンパクトなまちづくりを推進します。

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
居住促進区域内人口密度(時点)	目標	人/ha	/	48.2	48.0	47.8	47.5	47.3
	実績	人/ha	48.0	47.7				
	目標		/					
	実績							
	目標		/					
	実績							

居住促進区域内人口密度(時点)



【主な取組と成果】

主な取組①	コンパクトシティの推進	具体的な取組	●計画的な土地利用の推進 ●組合施行による徳山駅前地区第一種市街地再開発事業への補助及び支援(再掲) ●コンビナート電力の利活用(再掲) ●空き家の適正な管理及び利活用の推進
R2年度の取組・成果	計画的な土地利用の推進については、都心軸を中心としたエリアの価値と持続可能性を高め、都市機能の集積や適切な土地利用、景観形成などを包括的に検討し、施策を取りまとめた。商業施設やマンション等の整備が計画されている徳山駅前地区第一種市街地再開発事業では、権利変換計画の認可がなされ、既存施設の解体工事の着手まで進んだ。また、再開発組合からコンビナート電力を活用したいとの意思表示があり、供給に向けた事務手続きを開始した。空き家等の所有者に対し、適切な管理及び利活用を促すために、固定資産税納税通知書にチラシを同封し、専門家による無料相談会を開催するなどした。また、特定空家を1件、自主解体につなげた。		
進捗状況の評価/今後の対応	計画的な土地利用の推進については、頻発、激甚化する自然災害に対応した安全なまちづくりを実現するために、災害ハザードエリアにおける新規立地の抑制や立地適正化計画に防災指針を定めてるなど、自然災害の危険性の低い区域において居住の誘導を図る取り組みを進める。また、引き続き徳山駅前地区第一種市街地再開発事業の支援などを行い、コンパクトシティの推進に努める。空き家の適正な管理及び利活用の推進については、実態調査結果を取りまとめ、必要な施策を検討する。		

主な取組②	公共交通ネットワークの形成	具体的な取組	●地域公共交通計画(仮称)の策定 ●既存「輸送資源」の有効活用 ●新技術活用の検討
R2年度の取組・成果	10年計画である周南市地域公共交通網形成計画の前期事業期間満了を迎え、計画策定時からの公共交通を取り巻く様々な社会環境の大きな変化や前期計画で見えてきた課題、また市民アンケート結果等を踏まえ、本市の公共交通ネットワークの在り方についての検討を行い、後期計画として「周南市地域公共交通計画」を策定した。		
進捗状況の評価/今後の対応	地域公共交通計画に位置付ける施策の事業実施に向けた具体的な検討を行う。また、新型コロナウイルスの影響によって減少した交通利用者の回復に向け、交通事業者と連携した利用促進に取り組む。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

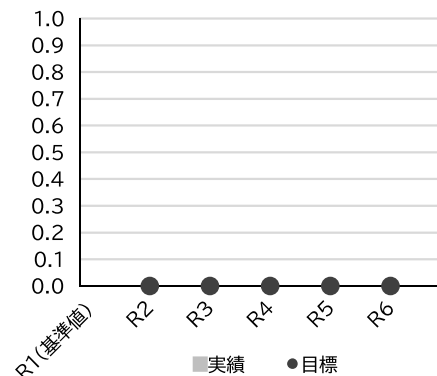
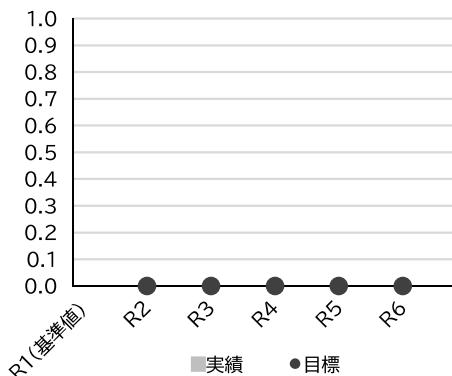
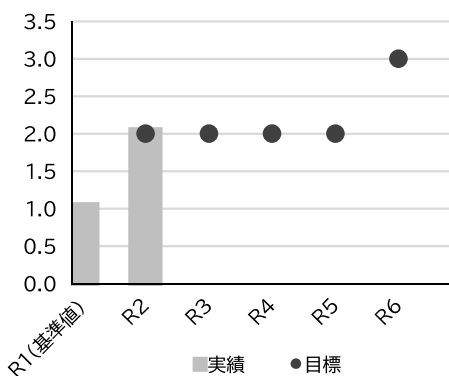
基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

基本目標	5. 時代に対応した、持続可能なまちづくり	関連するSDGs ③すべての人に健康と福祉を ⑧働きがいも経済成長も ⑩住み続けられるまちづくりを ⑪パートナーシップで目標を達成しよう
推進施策	(3) 中山間地域の持続可能な生活圏づくり	
小学校区等の生活拠点の中で、身近な生活サービスの維持や、地域資源を活用して収入を確保する取組等を経営の視点を取り入れて持続的に実践できる体制づくりを推進するとともに、買い物や医療などの一定の生活サービス機能を有する地域都市拠点等への生活交通を整備するなど、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進することにより、「人口減少や高齢化が進む中でも安心して誇りを持って暮らし続けられる地域の実現」を目指します。		

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
小さな拠点づくりに取り組む地区数(累計)	目標	地区	/	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0
	実績	地区	1.0	2.0				
	目標		/					
	実績							
	目標		/					
	実績							

小さな拠点づくりに取り組む地区数(累計)



【主な取組と成果】

主な取組①	中山間地域の拠点づくり	具体的な取組	●小さな拠点づくり・地域経営の体制づくりの支援 ●徳山北部地域の拠点形成
R2年度の取組・成果	須々万地区に徳山北部地区の拠点施設を整備するため、その整備基本計画を策定するとともに、大津島地区においては、地域住民や出身者の会との連携により、安心して暮らし続けられるために必要な生活サービスの提供や困りごとの相談・対応などを行う生活支援サービスセンターの構築に向けた取組みが開始された。		
進捗状況の評価/今後の対応	引き続き、徳山北部拠点施設の整備に向けた取組みを着実に進めるとともに、大津島地区の地域運営の仕組みづくりなど、持続可能な地域づくりに向けた各地区の自主的・主体的な取組みを支援する。		



主な取組②	公共交通ネットワークの形成(再掲)	具体的な取組	●地域公共交通計画(仮称)の策定 ●既存「輸送資源」の有効活用 ●新技術活用の検討
R2年度の取組・成果	10年計画である周南市地域公共交通網形成計画の前期事業期間満了を迎え、計画策定時からの公共交通を取り巻く様々な社会環境の大きな変化や前期計画で見えてきた課題、また市民アンケート結果等を踏まえ、本市の公共交通ネットワークの在り方についての検討を行い、後期計画として「周南市地域公共交通計画」を策定した。		
進捗状況の評価/今後の対応	地域公共交通計画に位置付ける施策の事業実施に向けた具体的な検討を行う。また、新型コロナウイルスの影響によって減少した交通利用者の回復に向け、交通事業者と連携した利用促進に取り組む。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価/今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見	戦略会議の意見を踏まえた今後の方針

基本目標の実現に向けた推進施策の進捗状況

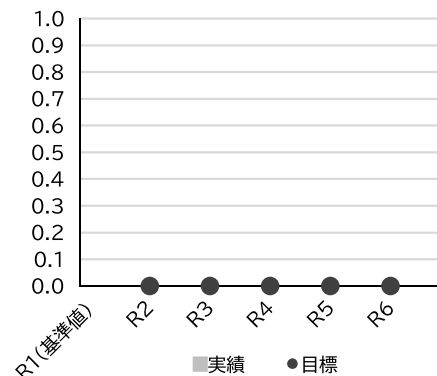
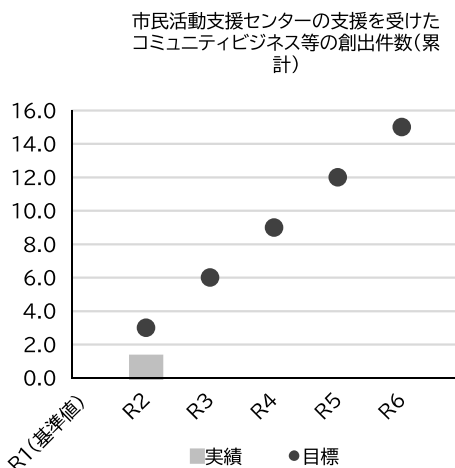
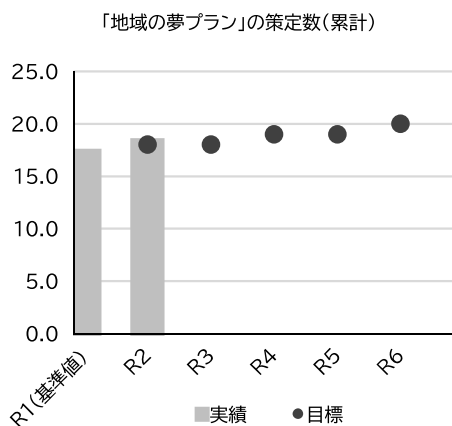
基本目標	5. 時代に対応した、持続可能なまちづくり
推進施策	(4) 多様な主体による地域づくりの推進

【関連するSDGs】  
 ① 貧困をなくそう ③ すべての人に健康と福祉を ④ 質の高い教育をみんなに ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧ 働きがいも経済成長も ⑩ 人や国の不平等をなくそう ⑪ 住み続けられるまちづくりを ⑬ 気候変動に具体的な対策を ⑭ 海の豊かさを守ろう ⑮ 陸の豊かさを守ろう ⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう

将来にわたり安心安全で活力ある地域社会を維持していくためには、地域の課題解決や魅力を高める市民の自主的・主体的な活動が求められており、市民と市民、市民と行政の多様な連携による地域づくりの推進を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

KPI		単位	R1(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6
「地域の夢プラン」の策定数(累計)	目標	団体	/	18.0	18.0	19.0	19.0	20.0
	実績	団体	17.0	18.0				
市民活動支援センターの支援を受けたコミュニティビジネス等の創出件数(累計)	目標	件	/	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0
	実績	件	-	1.0				
	目標		/					
	実績							



【主な取組と成果】

主な取組①	地域コミュニティの活性化	具体的な取組	●地域の夢プランの推進 ●地域づくり推進体制の強化
R2年度の取組・成果	菊川地区において、新たに夢プランが完成し、夜市地区・鼓南地区においては、夢プランの実現に向けた取組が開始された。コロナ禍の影響により、地域活動が制限される中、新たに夢プランの策定に取り組む団体はなかった。また、地域拠点施設となる遠石、長穂市民センターが完成した。		
進捗状況の評価/今後の対応	夢プランの策定数は、目標値に対して順調に推移している。今後も、住民主体の地域づくりの機運醸成を図るとともに、夢プランの策定や、その実践活動に取り組む地域を支援する。また、市民センター職員の育成を図りながら、ふるさと振興財団と連携し、地域づくり推進体制の強化を図る。地域づくり活動の拠点である市民センター等について、計画的な整備や維持管理を行うとともに、より柔軟で幅広い活動が展開できるよう、地域の意向に応じて、自ら管理・運営するための体制作りを支援する。		

主な取組②	市民活動の促進	具体的な取組	●新たな市民活動の創出 ●市民活動支援の充実
R2年度の取組・成果	新たな市民活動の創出体制の検討と構築を行い、ふるさと振興財団がこれまで市が担ってきた、市民活動の支援について主要な役割を担い、推進することとした。コミュニティビジネスが1件創出された。		
進捗状況の評価 /今後の対応	コミュニティビジネスの創出件数は、コロナ禍や支援体制が整備途中であることも影響し、目標値を下回った。今後は、多様な市民活動団体に対する人的・財政的な支援を、ふるさと振興財団が担う体制づくりを進める。		

主な取組③		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

主な取組④		具体的な取組	
R2年度の取組・成果			
進捗状況の評価 /今後の対応			

【評価】

戦略会議からの意見		戦略会議の意見を踏まえた今後の方針	